

2023年4月21日

## アウディ、中国で Formula 1 プロジェクトを発表

- 上海モーターショーでアウディローンチカラーを纏った F1 ショーカーを展示
- ノイブルク拠点でパワーユニットの開発が本格化
- 開発チームが焦点を当てるトピックは革新と効率

(ドイツ本国発表資料)2023年4月18日、インゴルシュタット:アウディは、中国で初めて Formula 1 プロジェクトを発表。4月18日から27日に開催される上海モーターショーにて、アウディスタンドのセンターステージには、アウディローンチカラーを纏った F1 ショーカーを展示。AUDI AG CEO (最高経営責任者) マルクス ドゥスマンは、記者会見でプロジェクトの現在の進捗状況について説明しました。

アウディは2026年から、モータースポーツ最高峰のレースである FIA Formula 1 世界選手権にファクトリーチームとして参戦する準備を進めています。参戦に当たって、「F1 Power made in Germany」をスローガンに掲げ、ドイツで開発したパワーユニットを搭載したマシンの開発を進めています。AUDI AG CEO マルクス ドゥスマンは、次のように述べています。「モータースポーツは、私たちの DNA の不可欠な部分です。私たちの Formula 1 への取り組みにより、アウディのモータースポーツへのフォーカスが強化されると確信しています。Formula 1 の人気は世界的に高まっており、特に若いターゲットグループと、最も重要な市場である中国において顕著です。」上海国際サーキットで開催予定であった中国グランプリは、パンデミックの影響により4回連続で開催することができませんでした。そのため、最高峰クラスのモータースポーツに対するアウディの将来的な取り組みを事前に示すことは、中国の Formula 1 ファンの方々にとって、より大きな喜びとなります。

AUDI AG 技術開発担当取締役 オリバー ホフマンは、次のように述べています。「アウディ Formula 1 プロジェクトは、ここ数か月で本格的に始動しました。現在、パワーユニットのコンセプト策定を進めており、2026年に投入するドライブトレインの基礎を築いています。また、素材や製造技術などの詳細な作業を重視し、ハイブリッドドライブトレインのエネルギー管理などのトピックにも焦点を当てています。最終的に、効率は Formula 1 と未来のモビリティにとって重要な成功要素であり、これらのアプローチは、サーキットと公道の両方の世界における開発を前進させることになるでしょう」

2022 年末から単気筒エンジンによるテストが開始され、Formula 1 用エンジン開発におけるテストベンチのセットアップと測定機器の検証のための貴重な洞察が得られました。内燃エンジン、電気モーター、バッテリー、電子制御ユニットで構成される最初のフルハイブリッドドライブトレインユニットは、年末までにベンチテストが実施される予定で、これによって将来の車両コンセプトの基礎が形成されます。さらに、ノイブルクのダイナミック開発シミュレーターは Formula 1 を基準にレベルアップされ、アウディ製パワーユニットの開発がさらに推進されます。

その一方で、アウディが Formula 1 に参戦するために設立した Audi Formula Racing GmbH の傘下にあるノイブルク アン デア ドナウの拠点では、チームの強化が本格的に進められています。このチームには、既に260人以上のスペシャリストが参加しています。開発チームの中核は、電気自動車によるモータースポーツ参戦で長年にわたる多様な専門知識を持つ、経験豊富な Audi Sport およびアウディ従業員によって構成されています。さらに、社外からも Formula 1 の専門知識を持つスペシャリストが参加し、ターゲットを絞った方法でチームを強化しています。年末までにすべてのスタッフの採用を終える必要があり、最終的にチームは300人以上の従業員で構成される予定です。

同時に、ノイブルクの Competence Center Motorsport は、Formula 1 プロジェクトのために拡張されます。今年の後半から、パワーユニット開発用の試験装置を増設し、延床面積約3,000m<sup>2</sup>の新社屋を建設します。この新社屋では、モジュラー設計により、2024年初めに建物が完全に完成する前であっても、最先端の試験装置を稼働させることができます。ノイブルクにおける電気と熱の供給は、すでに CO<sub>2</sub> 二

ュートラルを達成しています。この施設には、産業廃熱からの地域暖房と、水力発電所からのグリーン電力が供給されています。国際自動車連盟（FIA）は、この施設に3つ星の環境認証を授与しました。これは、環境保全と持続可能性に対する最高の評価です。アウディの目標は、ノイブルクのFormula 1 プロジェクトに CO<sub>2</sub> ニュートラルなエネルギーを提供し、施設における再生可能エネルギーの供給システムを確立することです。

最高峰のモータースポーツでは、持続可能性も重要な役割を果たします。2026 年から適用されるレギュレーションでは、電動化により大きな焦点が当てられており、電動ドライブトレイン（MGU-K）は内燃エンジンとほぼ同じパワーを発生できるようになります。非常に高い効率を誇る 1.6 リッター ターボチャージャー エンジンは、持続可能な合成燃料で作動します。Formula 1 は、その熾烈な戦いにより、e モビリティと持続可能な e-fuel の両方のテクノロジー推進要素として機能します。さらに、Formula 1 は、2030 年までにレーシングシリーズとしてカーボンニュートラル\*になるという目標を掲げています。

2022 年 8 月末に正式に発表されたアウディの Formula 1 への参戦では、いわゆる「コストキャップ」と呼ばれる予算制限が適用され、持続可能性とコスト効率を重視することが重要な要素となっています。アウディは、2026 年から Formula 1 にアウディ ファクトリーチームとして参戦するための戦略的パートナーとして、経験豊富なスイスのレーシングチームであるザウパーを選択しました。

上海モーターショー2023 におけるアウディスタンドの詳細は、以下からご覧いただけます：  
<https://www.audimediacycenter.com/en/presskits/audi-at-auto-shanghai-2023-15291>

\* CO<sub>2</sub> 排出量「正味ゼロ」に関するアウディの解釈は、あらゆる削減対策を採用した後で、アウディの製品や活動によって排出される、もしくはアウディのサプライチェーン、製造、リサイクルにおいて現段階では排出が避けられない CO<sub>2</sub> が、世界各地で実行されている自主的プロジェクトで相殺されるというものです。車両の使用段階で排出される CO<sub>2</sub>、すなわちお客様へ納車された時点から発生する CO<sub>2</sub> 排出量は考慮されていません。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様お問い合わせ：  
アウディ コミュニケーション センター  
0120 - 598106



---

アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、13 カ国 22 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2022 年、アウディ グループは、161 万台のアウディ、15,174 台のベントレー、9,233 台のランボルギーニ、および 61,562 台のドゥカティを販売しました。2022 会計年度において、アウディ グループは総収益 61.8 億ユーロ、営業利益 7.6 億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは 2022 年に 87,000 人以上が働き、そのうち 54,000 人以上がドイツの AUDI AG で働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。

---